

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2018.11.5 No. 338 東京・羽村平和委員会発行



日米共同統合実働演習 「キーン・ソード19」 日米56,500名参加

日米共同統合演習は 1985 年度に開始され、概ね毎年、実働演習（キーン・ソード）と指揮所演習（キーン・エッジ）を交互に実施。実働演習は今年度で 14 回目です。

統合幕僚監部報道発表資料によると、今年度の実施期間は 10 月 29 日（月）から 11 月 8 日（木）まで。実施場所は、自衛隊施設、在日米軍基地、対馬及び我が国周辺海空域並びにアメリカ合衆国グアム、北マリアナ諸島自治連邦地区及びそれらの周辺海空域。

主要演練項目は、(1) 水陸両用作戦、(2) BMD / 防空作戦、(3) 海上作戦。

演習参加部隊は、自衛隊は機関等は、統合幕僚監部、陸海空の幕僚監部及び情報本部。自衛隊は陸海の総隊や艦隊と各方面隊等、空は総隊と航空支援集団等。

米軍はインド太平洋軍、在日米軍等。その他、一部の訓練にカナダ海軍艦艇が参加予定。（右写真:キーン・ソード 17、米軍 HP より）

演習参加規模、自衛隊：人員約 47,000 名、艦艇約 20 隻、航空機約 170 機。米軍：人員約 9,500 名。加軍：艦艇 2 隻。その他、豪・加・仏・韓国軍及び英軍からオブザーバーを招へいする。



米軍横田基地に展開の迎撃ミサイル 嘉手納基地所属だった 各地で展開



10 月 24 日、横田基地の南側の方に、迎撃ミサイル「パトリオット」(PAC3、PAC2) 5 基あるのを市民がを見つけました。

「しんぶん赤旗」紙が横田基地の第 374 空輸航空団広報部に

問い合わせ、米空軍嘉手納基地配備の米陸軍第 1 防空砲兵連隊第 1 大隊であることが分かりました。横田基地広報部は、同大隊が日米共同統合実働演習「キーン・ソード 19」の支援と、米インド太平洋軍司令官の優先事項として、防空/ミサイル防衛演習を実施すると説明しました。

この部隊は「2 + 2」の日米合意に基づく「ミサイル防衛」の一環として 2006 年 11 月に発足しました。迎撃ミサイル「パトリオット」は、岩国基地や普天間基地にも展開したようです。

迎撃ミサイル「パトリオット」(PAC3、PAC2)の横田基地展開については、事前に横田基地周辺自治体に情報提供はなく、北関東防衛局へ問い合わせで、確認し、要請など行いました。

日米共同統合演習 「キーン・ソード19」 横田基地における訓練は？

全国規模で実施されるこの演習の一環として横田基地は、○統合後方補給（輸送）訓練では、米軍輸送機 C-17 より、弾薬等コンテナを横田基地から岩国基地に空輸。○空挺降投下訓練では、横田基地において、重量物の梱包・点検、陸上自衛隊員及び重物料の医軍輸送機 C-130 への搭乗並びに搭載を実施。実際の空挺降投下訓練は陸上自衛隊・日出生台基地(大分県)で行われました。

10月に横田基地で人員降下訓練したのは、米陸軍特殊部隊 (No. 338 の裏面)



10月23日から25日まで、延べ50人程度が人員降下訓練をすると、23日に情報提供がありました。監視活動をしている羽村平和委員会は24日に5人が人員降下したのを確認しました(左写真)。降下した部隊は、沖縄駐留の米陸軍第1特殊部隊群第1大隊(通称・グリーンベレー)だったことも分かりました。横田基地の米空軍第374空輸航空団広報部は問い合わせに対し、C-130の乗員とグリーンベレー隊員の即応能力と相互運用性の改善のための訓練だと説明しました。

11月6日(火)～9日(金) また人員降下 延べ20人程度が降下訓練

C-130J-30輸送機により人員降下訓練を実施。期間は11月6日(火)から9日(金)まで。降下訓練は、延べ20名程度。と5日(月)に情報提供がありました。

神奈川県・相模総合補給廠に 陸軍の防空作戦司令部が発足した



米陸軍の物資を備蓄し供給する相模総合補給廠(神奈川県相模原市)に、陸軍の防空作戦司令部が10月16日に発足しました。突然のことで、市民は抗議をしています。

発足したのは、米陸軍第38防空砲兵旅団司令部。現在、日本に駐留する嘉手納基地のパトリオットミサイル大隊((左写真:横田基地に迎撃ミサイルパトリオットを展開した部隊)、青森県の車力通信所と京都府の経ヶ岬通信所のXバンドレーダーの中隊を指揮・管理下に置くとみられます。米陸軍の防空砲兵旅団司令部は、パトリオットやTHAAD(サード)等の迎撃ミサイル部隊を指揮下に置く司令部です。

■海外基地 資産評価額上位

(単位:100万円)

①ラムSTEIN(ドイツ・空軍)	12620
②嘉手納(日本・空軍)	12310
③横須賀(日本・海軍)	10208
④三沢(日本・空軍)	8253
⑤岩国(日本・海兵隊)	7233
⑥横田(日本・空軍)	6833
⑦ハンフリーズ(韓国・陸軍)	5579
⑧瑞慶覧(日本・海兵隊)	5280
⑨横瀬(日本・海軍)	4768
⑩トゥーレ(グリーンランド・空軍)	4676

在日米軍基地 資産価値 11兆円 世界でトップ

海外の米軍基地数は全体で、2007年に761だったのが2017年には514になり、247も減っています。ドイツも、268から194になり、74も減っています。ところが日本は124が121になっただけ、たったの3つ減っただけです。

日本は、国民の税金投入で資産価値はあがる一方です。左の表を見てください。海外基地資産評価額の上位10の中に日本の基地は7つも入っています。資産価値は日本がトップの1位で約11兆円、2位のドイツの約2.2倍です。



10月27日 横田基地にオスプレイらない東京集会に2,000人

朝まで降っていた雨も上がり、集会は晴天に恵まれました。私(高橋)は集会が始まる前は、公園の入り口付近で署名集めです。6団体のオスプレイ横田配備反対連絡会の署名で、既に33,000筆を政府に届けていますが、3度目の政府要請行動に向けて頑張っています。群馬県など遠くからも参加されていました。集会での地元からの訴えは、迫力ありましたね。ある方が、「もっと広げていかなければ」と感想を述べていましたが同感です。(高橋記)